

平成25年度 専門部会 就労支援部会の活動報告

	会 議 名	内 容	具 体 的 活 動
平成25年 6月11日	第1回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・部会長および副部会長選出 ・今年度の活動内容について意見交換および活動の進め方の確認 	自己紹介、意見交換 H25 年度活動目標 「企業との連携」
7月16日	第2回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携に向けた、情報共有および意見交換 	7/8 生駒市衛生社見学について等
8月6日	第3回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携に向けた、情報共有および意見交換 ・一般企業への発信・啓発の方法検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・8/3 どんどこまつりにおける清掃ボランティア活動（生駒市衛生社との共同活動） ・8/23 生駒市衛生社への訪問
9月10日	第4回部会	〃	生駒市衛生社への出前講座について（9月頃実施）
10月18日	出前講座	対象企業・・・生駒市衛生社 テーマ 障がいのある方の地域での生活 ～障がい者の理解と「働く」ということ～	<ul style="list-style-type: none"> ・生駒市衛生社幹部職員約20名受講
11月12日	第5回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携に向けた、情報共有および意見交換 ・一般企業への発信・啓発の方法検討 ・部会で可能な課題の整理および今年度の活動について 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の振り返り ・意見交換
12月10日	第6回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の今後の活動について検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・各メンバーから企業への打診後の報告（生駒市衛生社・生駒市商工会）
平成26年 1月14日	第7回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動について今年度中にできること ・「就労」に関連した地域課題の整理および部会で可能な取り組みについて（来年度の部会活動について） 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換

就労支援部会 活動テーマ

「多様な働き方を応援する仕組みを生駒市の中に構築する」

平成25年度 活動目標

「企業との連携」

活動内容

1. 出前講座（啓発）

<目的>

生駒市には企業が少なく（特に法定雇用率にかかる規模の企業はほとんどない）地域で生活する障がい者が「働く」為の受け皿も少ない。また、障がい福祉関係者と一般企業とのつながりはまだまだ希薄である。

障がい者雇用するためには障がい者への理解が重要であることをふまえ、「障がいとは何か」「障がい者が働く（働き続ける）ための工夫点」を一般企業へ伝えることで、障がい者雇用の促進を目指す。

また、障がい者の「働く」を応援する機関として互いに連携できることを目的とし、今回、障がい者の雇用について関心を持ち依頼された企業での啓発を行った。

<内容>

テーマ 障がいのあるかたの地域での生活

～障がい者の理解と「働く」こと～

◎日 時 平成25年10月18日（金）14：00～15：30

◎場 所 生駒市衛生社（生駒市北田原町1548-1）

◎対 象 生駒市衛生社 幹部職員約20名

◎啓発実施メンバー 就労支援部会メンバー7名および事務局



2. 広報誌への特集記事（啓発）

平成25年12月15日号生駒市広報にて特集記事「一歩、前へ～障がい者が働くということ～」を掲載。養護学校高等部卒業を控えた高校生とその親の思い、一般企業で働く障がい者と同僚等の話、障がい(児)者の支援機関関係者の話など、障がい者の「働く」について、市民に考えてもらうことを目的とした。

3. 企業との連携に向けての方法検討

各部会メンバーの所属機関においての一般企業との関係をベースに、課題の整理と部会で取り組むべき活動を検討した。生駒市内には障がい者雇用に至る可能性のある企業が少ないことを再確認し、障がい者の就労への理解と就労へのステップアップのための実習先の開拓など、連携することで障がい者の就労に関連する優先課題の解決へ向かう可能性を共有した。そのための企業との関係構築をどのように進めていけるのか、生駒市商工会から市内事業所の現状を教授できないかなど連携方法を模索している。

来年度の活動方針

働く（働きたい）障がい者の就労している時間以外の暮らしにも課題があるとの意見を踏まえ、障がい者の就労に関連する課題の整理と活動を検討していく。